

第 20 回

全国聴覚障害教職員シンポジウム 大分大会

温故知新

しらしんけん語ろう！

きこえない子どもたちのために 誇りと絆と希望を



[湯布院：由布岳]

- 期 日 2011年7月29日(金)～31日(日)
- 会 場 公立学校共済組合別府保養所 豊泉荘
- 主 催 全国聴覚障害教職員協議会
- 主 管 第20回全国聴覚障害教職員シンポジウム大分大会実行委員会
- 後 援 文部科学省 大分県教育委員会 別府市教育委員会 全国聾学校長会
財団法人全日本ろうあ連盟 社会福祉法人大分県聴覚障害者協会
大分県手話通訳問題研究会 大分県手話サークル連絡協議会
大分県要約筆記サークル「陽ざしの会」 大分盲ろう友の会
- 協 力 九州地区聴覚障害教職員懇談会

第20回 全国聴覚障害教職員シンポジウム 大分大会

温故知新 しらしんけん語ろう！ きこえない子どもたちのために 誇りと絆と希望を

会期：2011年 7月29日（金）～31日（日）／会場：別府 豊泉荘

実行委員長のご挨拶

第20回全国聴覚障害教職員シンポジウム
大分大会実行委員長 河津 知子

来ちよくれ！湯けむりの町、別府へ。

今年は「温故知新 しらしんけん（一生懸命）語ろう！きこえない子どもたちのために 誇りと絆と希望を」をテーマに設定しました。

「受け継ぐ」の手話は右の絵のように表します。

この手話のように、本大会でもこれまで私たちが出会った全国
の仲間から受け取った思いを、未来を担う子どもたちに伝えるた
めの語り合う場にしたいと考えています。

宮城は松島で産声をあげた全聴教シンポジウムは、ここ大分にて二十歳を迎えます。こ
の節目となるシンポジウムでは、これまでを振り返り、次へのさらなる一歩を踏み出して
いきたいと願います。

大分シンポジウムのメインテーマは「温故知新」…、ろう教育を切り拓いた人々、激動
の時代を生き抜いた方々に学び、未来への夢を語り合しましょう。

実行委員一同、多くの方のご参加を心からお待ちしております。



大会概要

開催目的 全国の聴覚障害教職員が一堂に集い、健聴の教職員とともに教育現場にお
けるさまざまな課題と実践成果を研究協議することによって教職員として
の資質を高め、広い知見と豊かな感性を身につけることを目的とする。

参加資格 全国の教育機関に勤務する聴覚障害教職員および健聴の教職員、ろう団体
会員、手話関係者、聴覚障害教育に関心のある者、将来教職員をめざす者（大
学生以上）。

内 容

第1日目 7/29（金）

10：00～12：00 全聴教役員会
12：30～13：00 受付
13：00～15：25 全聴教定期総会
15：35～17：00 特別企画
ワークシートを使った模擬授業
18：30～20：30 交流会
会場：豊泉荘

第2日目 7/30（土）

9：00～9：15 受付
9：15～10：00 開会式
10：10～12：00 記念企画
12：00～13：30 昼食・休憩
13：30～17：30 研究協議分科会
18：30～20：30 懇親会
会場：豊泉荘

第3日目 7/31（日）

8：45～9：00 受付
9：00～11：00
パネルディスカッション
11：10～12：00 閉会式

大会プログラム

◆7月29日(金)◆

【特別企画】15:35~17:00

「365日のワークシート～手話・日本語そして障害認識～」

ワークシートを使った模擬授業と、「わくわくする授業」への導入

全聴教が、ついに待望のワークシートを完成させました！

全国のろう教育の第一線で活躍する、きこえない教員が総力をかけて作成した、ワークシート形式の本です。自立活動等をはじめとするきこえない子どもたちの学習ドリル、聴覚障害教育に関わる教員の指導書として活用できるものをめざしました。

特別企画では、本のお披露目とともに、執筆者の一人、庄崎隆志氏（office風の器代表）を迎えて、模擬授業を行います。子どもたちが身を乗り出す授業、かれらを鼓舞する授業と、ワークシートの活用法を学びましょう！

ワークシートは豊泉荘ロビーにて販売する予定です。

定価¥2,500—（大会期間中は記念特価2,200円、10部以上持ち帰り2,000円）

【交流会】18:30~20:30

会場：豊泉荘

大分の豊かな大地ではぐくまれた新鮮な食材を生かした夕食は、お刺身、焼き魚、炊き合わせ、揚げ物と多様。湯けむりに囲まれながら、仲間たちと食べ飲み語り…
ごゆっくりお楽しみください。



◆7月30日(土)◆

【記念企画】10:10~12:00

激動の昭和を生きて

～きこえない先生たちへのメッセージ～

講師 かわぶちよりこ
川渕依子氏 (ビデオ出演による挨拶)

ふじたたかこ
藤田孝子氏 (講演)

コーディネーター:堀谷留美(本会会長)

大分で全聴教シンポジウム20回目を迎える。この一つの節目に、これまでのろう教育の歴史を原点にかえて見つめなおしたい。昭和初期から戦後の時代をメインに、当時の社会情勢を紹介しながら、激動の時代を生きてこられた方々のお話を、ビデオなどをまじえてうかがう。

昭和初期、全国のろう学校では口話法が台頭し、手話そしてきこえない教職員が排斥されていった。その中で、大阪市立聾啞学校が、子どもの適性に合った教育と手話の擁護を提唱し、今日の指文字を生み出した。大阪市立聾啞学校の高橋潔校長のご息女、川渕依子さんに当時の教育事情、指文字誕生の秘話についてお話しいただいたビデオを上映する。

そして戦後一。島根県立浜田ろう学校のろう教員、藤田威氏と孝子夫人は、障害者差別の厳しかった時代を生き抜いてこられた。ご夫妻の生き方は、NHKで「ドキュメンタリー 歳月」として全国に放送された(1964年)。藤田孝子さんに、戦後のろう教育事情、ろうの先生が置かれていた状況と差別、さらにろう者をとりまいていた当時の社会情勢についてお話しいただく。

奇しくも同じ年、大正12年に生を享けた二人の女性が今、ろう教育激動の時代の証人として、私たちにメッセージを届けてくださる…。

川渕依子 氏 1923年(大正12年)滋賀県生まれ。母の再婚に伴い、大阪市立聾啞学校の高橋潔校長の養女となる。高橋に関する書籍を出版。父の精神を受け継いで、地域での手話普及活動を進めている。

藤田孝子 氏 1923年(大正12年)京都府生まれ。京都府立ろう学校卒。1946年(昭和21年)、威氏と結婚。二女をもうける。現在は夫を見送り、講演活動や手話普及活動を進めている。

大会プログラム

【研究協議分科会】13:30~17:30

研究協議分科会の詳細は最後のページをご覧ください。



【懇親会】18:30~20:30 会場：豊泉荘

豊後の海の幸・山の幸に、まごころをこめてのおもてなし

別府の夜のひとときは、豊後地方の旬の食材を用いて四季を織り込んだ季節感あふれる料理をご堪能ください。仲間たちと感想や情報交換などで語り合い、大いに盛りあげましょう。



◆7月31日(日)◆ 【パネルディスカッション】9:00~11:00

「温故知新～語り継ごう全聴教のこれまでとこれから～in 大分」

- ・コーディネーター 名波綾子（静岡県立浜松聴覚特別支援学校）
- ・パネリスト 駒井 雅夫（元大阪府立だいせん聴覚高等支援学校）
佐藤 正幸（筑波技術大学）
岩井 真里子（北海道旭川聾学校）
高野 育子（福島県立聾学校）

全聴教20周年の節目を機に、聴覚障害教職員のこれまでの歩みを振り返ってみたい。今まで、先達、先輩の先生方が、多くの様々な困難にぶつかりながらも努力を重ねてこられたおかげで、全聴教が設立され、全国各地で多くの教職員の正式採用が相次ぎ、当シンポジウムでも文部科学省や全国聾学校長会等に後援していただくなど、聴覚障害教職員に対する社会的評価が定まってきている。しかし、少し前までは、聴覚障害教職員をとりまく社会状況が厳しく、教員採用試験の受験も認められなかった事例すらあった。研修等の配慮も十分ではなかった。

この企画では4人の先生に、教育研究大会の差別問題や教員採用試験受験資格にあたっての問題、研究所や大学での研究活動に、ご自身の夢と母校での教員生活について等、時代の社会背景もまじえてお話しいただく。

今までの道を振り返り、これからのろう教育の可能性、教職員の専門性などをこの大分の地で、参加者のみなさんでじっくり考え、語り合っていこうではありませんか。

研究協議分科会

第1分科会

座長：中森紀暎（千葉県立袖ヶ浦特別支援学校）

佐藤純子（埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園）

助言者：小田侯朗（独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所）

集団活動の充実をめざして ～あらゆる場面での活動を通して～

当今の特別支援教育制度の流れの中で、ろう教育の専門性とも関連して、きこえない子どもたちの集団とその活動の保障が大切な課題としてあげられる。他者との意見のやりとりを活発に行い、共に活動していく中で、より理解力を高め、判断力を養い、自主性を引き出していくような「集団活動の充実」をめざす取り組みについて協議する。

第2分科会

座長：田中圭子（兵庫県立神戸聴覚特別支援学校）

池田康弘（岡山県立岡山聾学校）

助言者：西垣正展（滋賀県立聾話学校）

きこえない子どもの心に寄り添った教育的サポートとは

～心理臨床の視点による「関わり方」を考える～

きこえない子どもたちの成長を現場で支援していく時に、本人への関わり方が重要なポイントとなる。この関わり方について、心理臨床の視点からどのように行っていくとよいのかを事例から検討する。また、心理臨床の演習を通して、教育的サポートに必要な「援助的關係」（関わり方）のスキルを学ぶ。

第3分科会

座長：大西裕介（兵庫県立神戸聴覚特別支援学校）

東條桂子（仙台市立鶴谷特別支援学校）

共に語り合おう！動きやすい職場づくりのために

一般校や聴覚障害以外の特別支援学校を職場とする聴覚障害教職員が増えつつあるが、会議等における情報保障はされているのだろうか。また、聴覚障害教職員の新規採用も進んでいるが、研修等における情報保障はどうなのだろうか。聾学校で働く方も含めて、日頃の職場での悩みなどを出し合いながら、自信や誇りをもって働ける職場づくりについて話し合いたい。

第4分科会

座長：植松 舞（静岡県立静岡聴覚特別支援学校）

菅原あさみ（東京都立中央ろう学校）

助言者：前田 浩（大阪市立聾学校）

「365日のワークシート」を活用した授業づくり

～豊かなことばをきこえない子どもたちに～

きこえない子どもたちが日本語学習をより身近に感じるような授業づくりに焦点をおいて、模擬授業・実践交流を中心に研究協議を進める。適切な教材準備、子どもたちがワクワクするような授業展開とは、どのようなものだろうか？ この夏に発刊されるワークシートの活用を視野に入れながら、みんなで自由に話し合う実践的な分科会にしたい。

第5分科会

チューター：庄崎隆志 (office 風の器)
座 長：田中靖恵 (富山県立富山聴覚総合支援学校)

身体表現によるメッセージを伝えよう

～東日本へつなごう心の輪、大分の地で～

沈黙している身体。そこに足の動きが加わり、視線、手の動き、そして身体全体の動きで何らかのメッセージを子どもたちに伝えていく…身体表現というひとつの伝え方を、office 風の器代表の庄崎氏をお迎えし、ワークショップを通して身体で学ぼう。そして、東日本の子どもたちに、大分で生まれた身体表現によるメッセージを伝えよう。

申込完了までの流れ

①記入・FAX 送信

- ◆別紙「参加申込書」の必要事項を誤字脱字のないようご記入願います。
- ◆ご記入後は、大分県立聾学校学校内 大分大会実行委員長 河津知子までご送信願います。

(FAX:097-546-2111)

- ◆本参加申込書は、控えとして保管してください。

②郵便局へのお振込み

- ◆参加申込書に記載している「お振込み予定日」までに、郵便局より参加費をお振り込みください。なお、振込手数料はご負担願います。
- ◆振込はお1人につき1件とし、複数人数による一括のお振込みはご遠慮願います。

③入金確認

- ◆参加費ご入金確認後、実行委員会より「受領確認証」をFAXにてご連絡します。その際、「受領確認証」の宛名をご確認ください。宛名に間違いがある場合は実行委員会までご連絡ください。
- ◆お振込みの入金確認に若干時間がかかりますので、あらかじめご了承ください。

以上で申込完了です！

多くの皆さんのお申し込みをお待ちしております。

